



S第 1-200187 号

令和 4年 8月 8日

佐渡砕石協同組合

理事長

清水 正秀

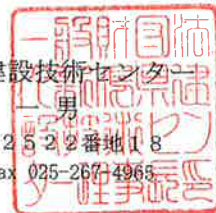
様

一般財団法人 新潟県建設技術センター

理事長 中田 一男

〒950-1101 新潟市西区山田2-5-22番地118

Tel 025-267-2191 Fax 025-267-4965



## 土 質 試 験 結 果 報 告 書

下記試験の結果を別紙のとおり報告します。

### 記

試 料 名 クラッシャーラン C-25

採取地又は産地 新潟県佐渡市梅津地内

工 事 名 等 -----

試 験 項 目 土の液性限界・塑性限界試験  
骨材のふるい分け試験  
CBR試験（修正CBR）

# 土質試験結果一覧

令和 4年 8月 8日

調査件名	S 1-200187
採取地又は産地	新潟県佐渡市梅津地内
試験担当者	山口 敏彦
試料番号(深さ)	1

試験項目	ふるい分け (通過質量百分率) %						
	31.5 mm	26.5 mm	13.2 mm	2.36 mm			
試験値	100	100	73	19	—	—	—
規格値	100	95~100	50~80	10~35			

試験項目	自然含水比 %	液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	塑性指数 $I_p$
試験値	—	NP	NP	NP

試験項目	最適含水比 $w_{opt}$ %	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ Mg/m <sup>3</sup>	修正CBR % (締固め度 %)	すりへり減量 %
試験値	4.8	2.03	60.19	—

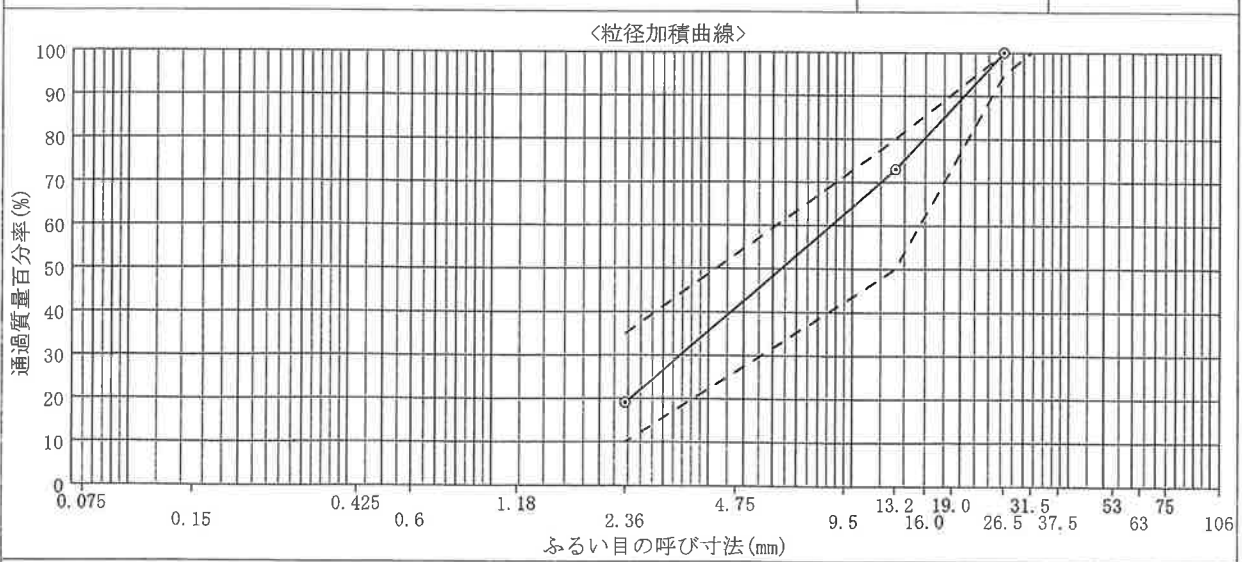
特記事項
------

JIS A 1102	骨材のふるい分け試験
------------	------------

調査件名 S1-200187	試験年月日 令和4年7月11日
試料名 1	試験者 齋藤 英昭

試料の種類	—	採取年月日	令和 -年 -月 -日
試料の採取場所	—	採取者	—
全乾燥試料質量	5976 g	ふるい分け方法	手動

ふるい目の開き (mm)	各ふるいにとどまる 質量 (g)	連続する各ふるいの 間にとどまる質量 (g)	連続する各ふるいの 間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる 質量分率 (%)	各ふるいを通過する 質量分率 (%)
106					
75					
63					
53					
37.5					
31.5	0	0	0	0	100
26.5	0	0	0	0	100
19.0					
16.0					
13.2	1593	1593	27	27	73
9.5					
4.75					
2.36	4816	3223	54	81	19
1.18					
0.6					
0.425					
0.15					
0.075					
以下(受皿)	5976	1160	19	100	0
計	5976	5976	100		



備考 なし

調査件名 S1-200187

試験年月日 令和 4年 7月 14日

試験者 井上 道明

試料番号 (深さ) 1

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		NP
				塑性限界 $w_p$ %
				NP
				塑性指数 $I_p$
				NP
ヒモ状にならず試験不能				

試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
				塑性限界 $w_p$ %
				塑性指数 $I_p$

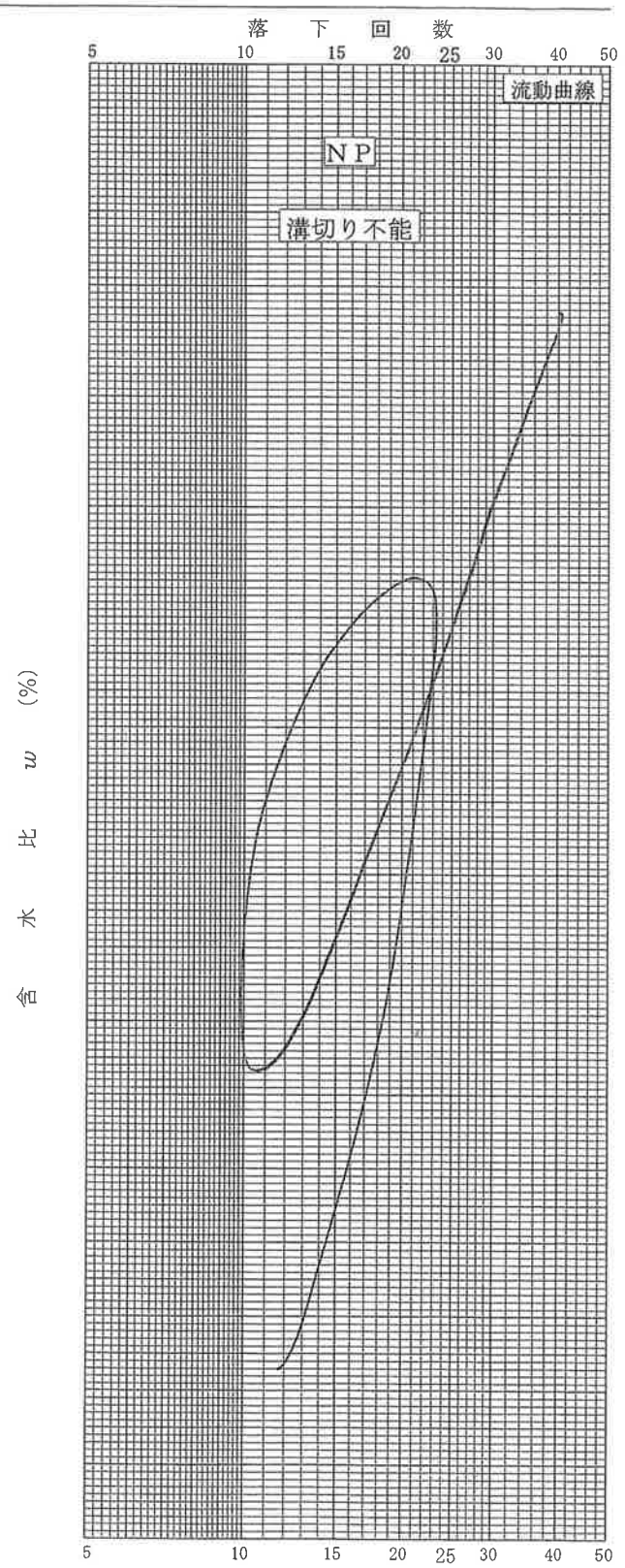
試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
				塑性限界 $w_p$ %
				塑性指数 $I_p$

試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
				塑性限界 $w_p$ %
				塑性指数 $I_p$

特記事項  
なし



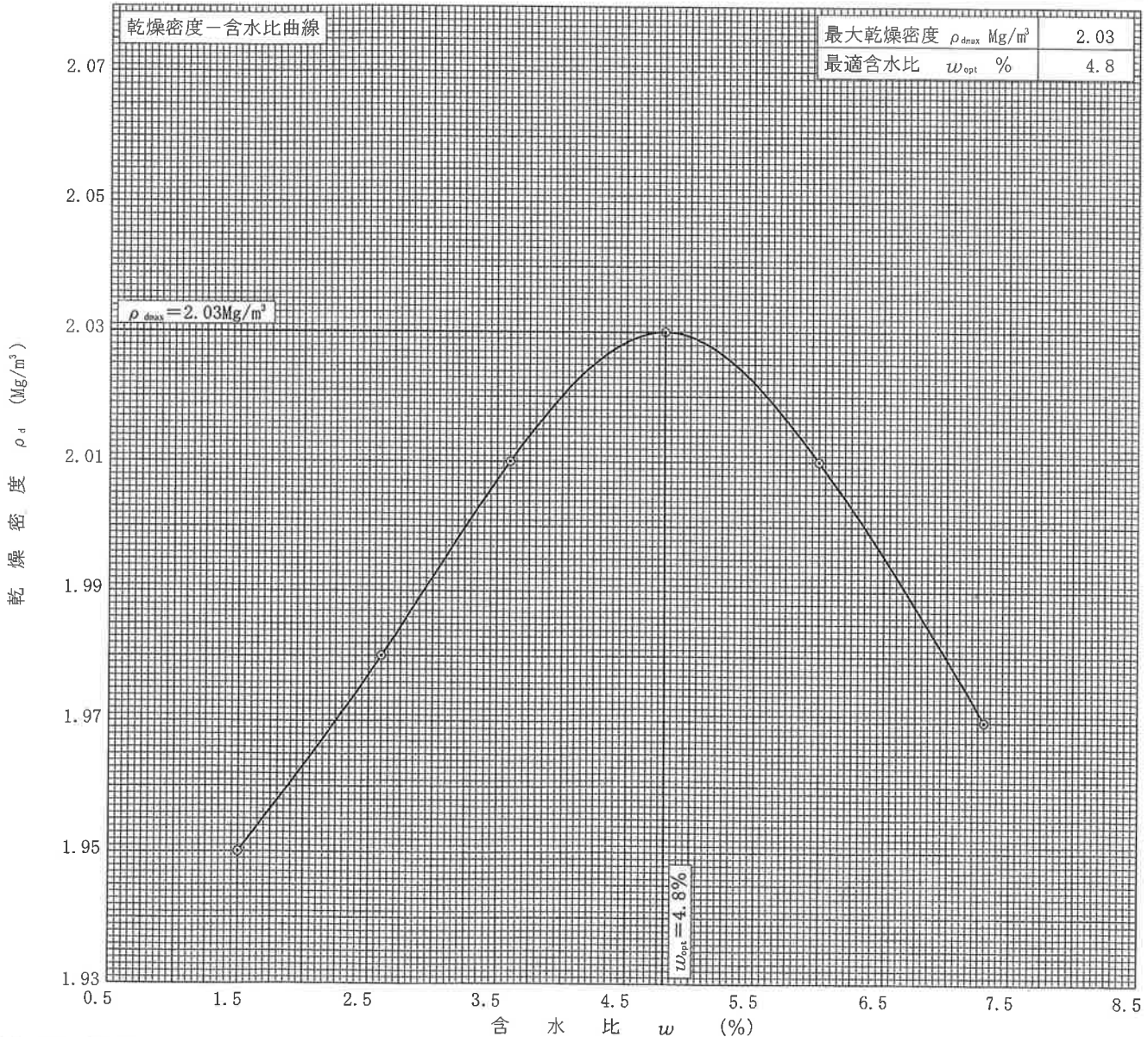
調査件名 S1-200187

試験年月日 令和 4年 7月 14日

試料番号 (深さ) 1

試験者 山口 敏彦

試験方法	E-b		土質名称		—			
試料の準備方法	乾燥法, <del>湿潤法</del>		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 $\rho_s$ Mg/m <sup>3</sup>	—		
試料の使用法	<del>繰返し法</del> , 非繰返し法		落下高さ mm	450	試料調製前の最大粒径 mm	—		
含水比	試料分取後 $w_0$ %	—		突固め回数 回/層	92	モールド	内径 mm	150
	乾燥処理後 $w_1$ %	0.9		突固め層数 層	3		高さ <sup>1)</sup> mm	125.0
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 $w$ %	1.5	2.6	3.6	4.8	6.0	7.3	/	
乾燥密度 $\rho_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.95	1.98	2.01	2.03	2.01	1.97		



特記事項

1) 内径150mmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。  
 ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho_w}{\rho_w/\rho_s + w/100}$$



調査件名 S1-200187

試験年月日 令和 4年 7月 25日

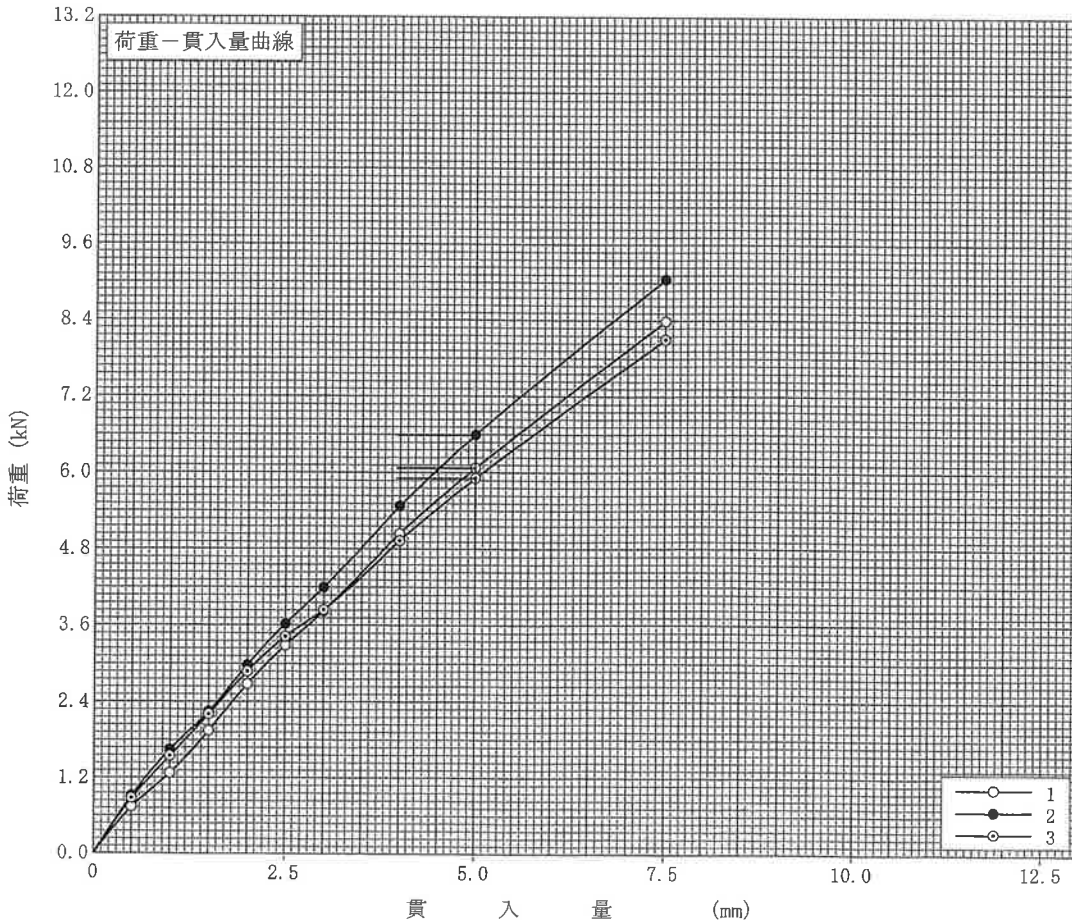
試料番号 (深さ) 1

試験者 山口 敏彦

試験方法	締固めた土, <del>乱さな土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	—	
突固め方法	—	落下高さ	mm	450	空気乾燥前含水比 %	—	
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	17	自然含水比 $w_n$ %	—	
試験条件	水浸, <del>非水浸</del>	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	4.8	
養生条件	— 日空气中	モールド	内径	mm	150	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ Mg/m <sup>3</sup>	2.03
	4 日水浸		高さ <sup>1)</sup>	mm	125		

供試体 No.		1	2	3	
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	4.9	4.8	5.4
		乾燥密度 $\rho_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.84	1.84	1.83
	後	膨張比 $r_s$ %	0.01		
		平均含水比 $w'$ %	9.8		
	乾燥密度 $\rho'_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.84			
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %		8.4	8.0	8.3
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		24.48	27.01	25.52
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		30.50	33.12	29.70
	C B R %		30.50	33.12	29.70

平均 C B R %
31.11



特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]

[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No.1	3.28	6.07
供試体 No.2	3.62	6.59
供試体 No.3	3.42	5.91
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名 S1-200187

試験年月日 令和 4年 7月 25日

試料番号 (深さ) 1

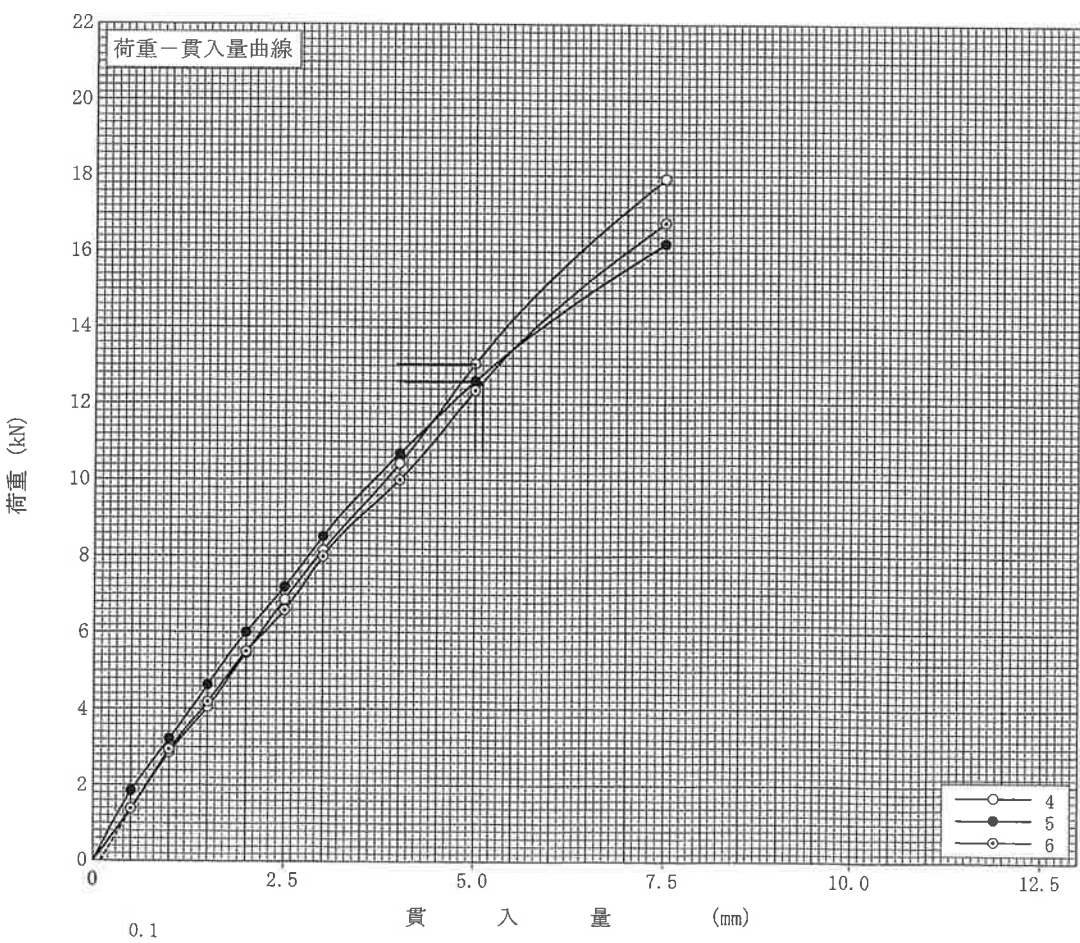
試験者 山口 敏彦

試験方法	締固めた土, 乱さか土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	—	
突固め方法	—	落下高さ	mm	450	空気乾燥前含水比 %	—	
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	42	自然含水比 $w_n$ %	—	
試験条件	水浸, 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	4.8	
養生条件	— 日空气中	モールド	内径	mm	150	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ Mg/m <sup>3</sup>	2.03
	4 日水浸		高さ <sup>1)</sup>	mm	125		

供試体 No.		4	5	6	
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	4.8	5.1	5.2
		乾燥密度 $\rho_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.95	1.94	1.94
	後	膨張比 $r_e$ %	0.01		
		平均含水比 $w'$ %	8.7		
	乾燥密度 $\rho'_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.95			
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %		7.5	7.7	7.7
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		51.19	53.66	51.04
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		65.53	63.27	63.12
	C B R %		65.53	63.27	63.12

平均 C B R %
63.97

特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重	6.86	13.04
貫入量	7.19	12.59
標準荷重強度 MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名 S1-200187

試験年月日 令和 4年 7月 25日

試料番号 (深さ) 1

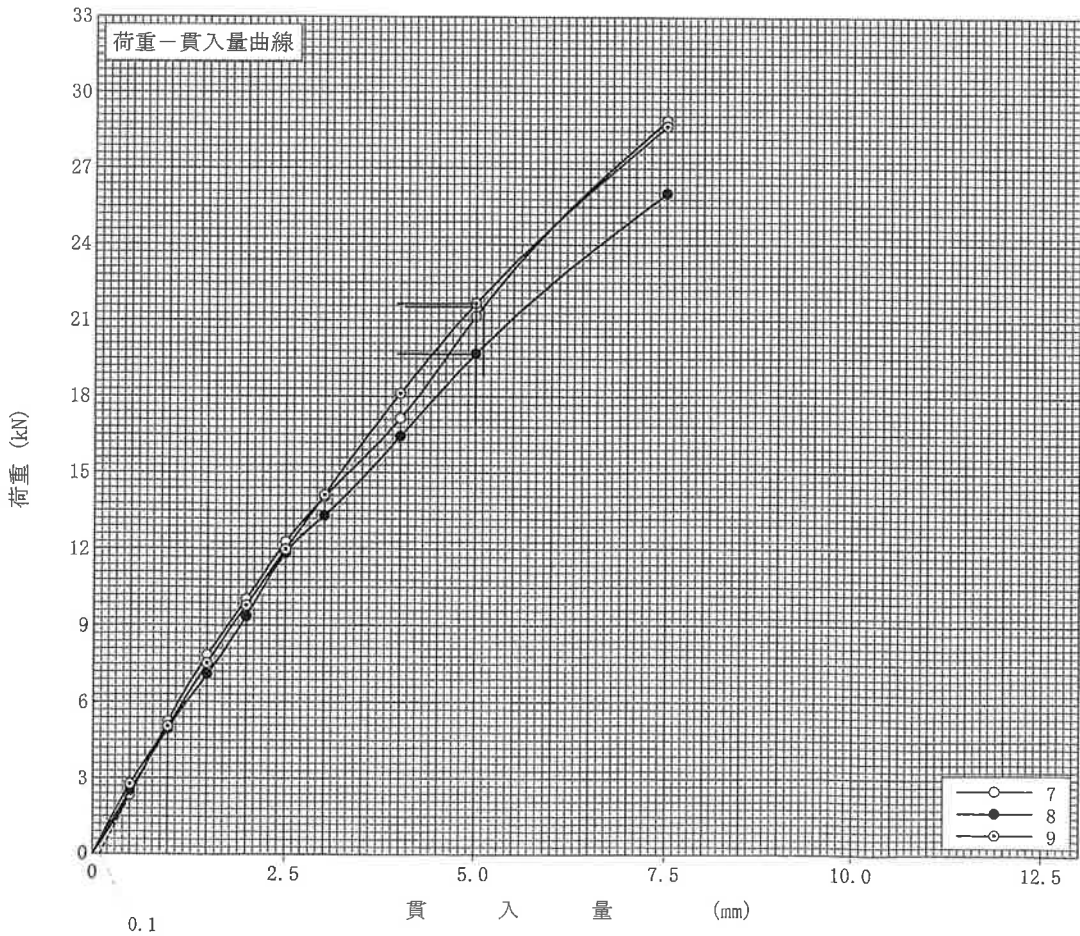
試験者 山口 敏彦

試験方法	締固めた土、 <del>乱れ土</del>	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	—	
突固め方法	—	落下高さ	mm	450	空気乾燥前含水比 %	—	
試料の準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数	回/層	92	自然含水比 $w_n$ %	—	
試験条件	水浸、 <del>非水浸</del>	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	4.8	
養生条件	— 日空气中	モールド	内径	mm	150	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ Mg/m <sup>3</sup>	2.03
	4 日水浸		高さ <sup>1)</sup>	mm	125		

供試体 No.		7	8	9	
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	4.8	5.1	4.8
		乾燥密度 $\rho_d$ Mg/m <sup>3</sup>	2.03	2.02	2.03
	後	膨張比 $r_e$ %	0.00		
		平均含水比 $w'$ %	7.9		
	乾燥密度 $\rho'_d$ Mg/m <sup>3</sup>	2.03			
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %		6.5	6.8	6.8
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		94.55	88.36	89.40
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		108.24	98.84	108.84
	C B R %		108.24	98.84	108.84

平均 C B R %
105.31

特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
貫入量		
荷重		
貫入量		
荷重		
貫入量		
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9



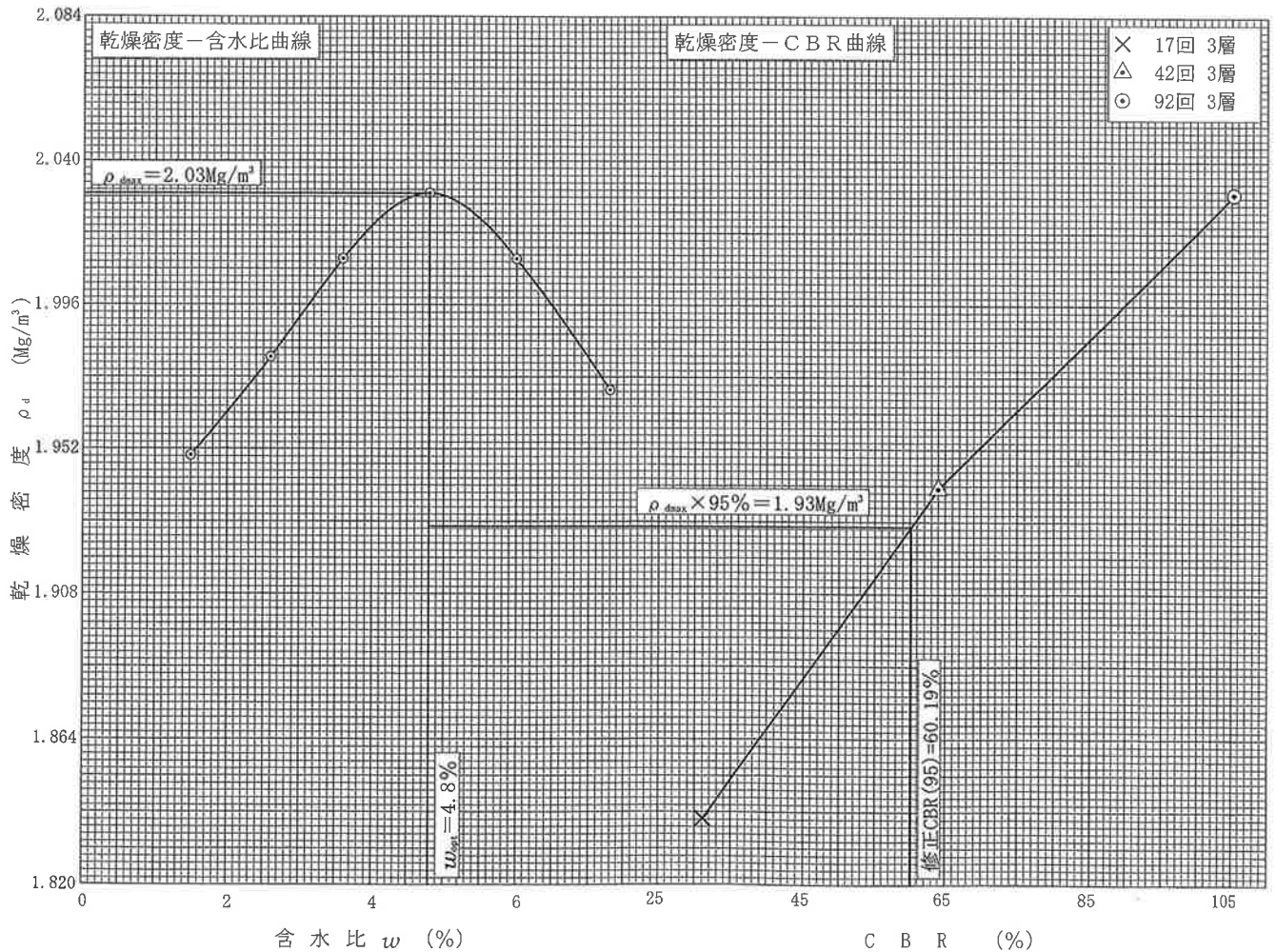
調査件名 S1-200187

試験年月日 令和 4年 8月 3日

試料番号 (深さ) 1

試験者 山口 敏彦

突固め回数 回/層	17 (3層)			42 (3層)			92 (3層)			
供試体 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
乾燥密度 $\rho_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.84	1.84	1.83	1.95	1.94	1.94	2.03	2.02	2.03	
平均値 $\rho_d$ Mg/m <sup>3</sup>	1.84			1.94			2.03			
貫入量2.5mmにおけるCBR %	24.48	27.01	25.52	51.19	53.66	51.04	94.55	88.36	89.40	
平均値 %	25.67			51.96			90.77			
貫入量5.0mmにおけるCBR %	30.50	33.12	29.70	65.53	63.27	63.12	108.24	98.84	108.84	
平均値 %	31.11			63.97			105.31			
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ Mg/m <sup>3</sup>			2.03			締固め度 %		
	—	最適含水比 $w_{opt}$ %			4.8			修正 C B R %		
								95		
								60.19		



特記事項  
なし